

2019年6月3日 第277号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 新宿で宣伝・署名行動

憲法変えるな! 政治を変えよう!

「3000万人署名」達成しよう!



総がかり行動実行委員会は6月2日、新宿駅西口で「安倍9条改憲 NO!憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)をさらに積み上げるため、総がかり大街頭宣伝行動に取り組みました。135人が参加し、249人から署名が寄せられました。

憲法共同センターは、京王百貨店前で行い、7団体14人が参加、21人が署名に協力してくれました。全労連・小田川議長、新婦人・油原中央常任委員、全教・檀原書記長、東京憲法会議・斎藤事務局長、新婦人・藤田さん、全労連・及川さん、全日本民医連・宮澤常駐理事が訴えました。

全労連・小田川議長は「安倍首相や、自民党は、7月に予定されている参議院議員選挙の争点に、9条改憲を置くと言っている。トランプ大統領との日米首脳会談で、安倍首相は空母建設と1機116億円もする戦闘機を147機も購入する、総額6兆2千億円もの武器の爆買いを再び確約したようだ。

今でも、年間予算の1割を占める巨額な軍事費が社会保障費を圧迫し、憲法25条が安倍政権の下で軽視されている」と指摘。「参議院選挙で、自民党などの改憲派を3分の2割れにさせ、9条改憲を安倍首相に断念させよう。5月29日の立憲野党の党首会談で、32の1人区の内、30の選挙区での候補者調整が行われ、安倍9条改憲阻止など13項目の共通政策でも合意がされた。『戦争する国に後戻りさせる安倍政治か、憲法を守り抜き、誰もが自分らしく暮らせる明日をめざす立憲野党の政治か』、二つの道を選択する参議院選挙にしよう。市民と立憲野党が力を合わせれば、安倍一強の政治状況は変えることができる。その市民と野党の共闘の一丁目一番地の課題が、安倍9条改憲阻止の課題。皆さんのお力を、立憲野党の前進にお貸しいただき、安倍改憲を断念させよう」と訴えました。



★お手元の3000万人署名は、今すぐ憲法共同センターに送ってください!